

- ▶ 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- ▶ 令和3年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- ▶ また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- ▶ さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

## □ 事業内容

### 信太山青少年野外活動センター 木製製品の整備促進事業

当施設は、主に小学校、保育所、幼稚園などの学校園団体や、子育て層などの家族連れ等のグループ利用があり、野外活動等の体験の場として、多くの市民に利用されている。屋外でのバーベキューなどが楽しめる野外炊事場を設置しており、老朽化したテーブル・ベンチを、国産木材を使用して木の温かみを感じられるテーブル・ベンチにリニューアルした。

【事業費】4,180千円（うち譲与税4,180千円）

【実績】屋外用テーブル・ベンチ一体型 45組



## □ 事業スキーム

一般競争入札

## □ 工夫・留意した点

- 国産木材を用いて木質化することで、利用することも達が自然と触れ合い、木の良さを実感する場が増え、施設が提供する自然とのふれあいや創造活動にもつながるものとなっている。
- 今回は国産のなかでも、すべて大阪府産の木材を使用することができ、より身近な地域の森林資源を感じられ、環境教育につながりやすいものとなった。

## □ 基礎データ

①令和3年度譲与額	236,228千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.00%
④人口（※3）	2,752,412人
⑤林業就業者数（※4）	62人

※1、2：「2020年農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より、  
※4：「H27年国勢調査」より